

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

長期ビジョン

アジアのコンシューマーファイナンスカンパニーとしてトップブランドを確立する

営業収益
2045億円経常利益
310億円親会社株主帰属純利益
230億円DOE
3.0%

② 中長期の経営戦略

1. MUFGとの連携とM&A

顧客網活用による相互送客、BaaS協業推進。国内では脱炭素関連商
材・家賃保証・銀行個人ローン保証拡大。海外はASEAN進出検討

3. ALM高度化

MUFGシナジーによる資金調達多様化。金融環境変化への適応でア
セットコントロール強化し財務健全性と資本効率向上

2. 量から質への転換

国内クレジットは営業推進体制見直し。ペイメントは収益性重視へ
戦略転換。ベトナム・インドネシアは商品選別と新スコアリング導
入で良質債権拡大

③ 対処すべき課題

① 国内事業の構造改革

- ・ 経営資源の選択と集中による生産性向上
- ・ 営業支援ツール導入などコスト削減実現

② 海外事業の基盤再構築

- ・ 高収益商品中心ポートフォリオへの転換
- ・ デジタル技術活用によるオペレーション改革

③ グループ全般の成長と価値向上

- ・ M&Aを活用した成長領域への投資
- ・ 人的資本経営と環境・社会課題への対応強化

面接で使えるポイント

- ・ 2027年度営業収益2045億円達成に向け、MUFGグループとの連携拡充で相互送客枠組みやBaaS協業を推進する
- ・ ベトナム・インドネシアで新スコアリングシステム導入により良質債権を拡大し、信用コスト圧縮を図る戦略
- ・ 脱炭素関連商材や太陽光発電システムなど、環境問題への貢献を通じたクレジット事業の成長機会

証券コード 8584

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

要するに
消費者信用業を主軸とする金融企業

主力事業・セグメント

- ・国内 88.6%
- ・海外 11.4%

強み・特徴（公開データから）

- ・連結売上高1,923億円の事業規模
- ・営業利益率10.6%の安定した収益性
- ・東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
1,923億円営業利益率
10.6%財務健康度
40点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 49.0（当サイト算出の参考指標）

平均年収
676万円

その他金融業内 21位/38社

平均年齢
40.4歳

その他金融業内 22位/38社

平均勤続
15.5年

その他金融業内 6位/38社

女性管理職
19.0%

その他金融業内 15位/27社

男性育休
100.0%

その他金融業内 7位/22社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

